

# データ プロジェクター

## 取扱説明書

VPL-DX270/DX240/DX220  
VPL-DW240

国、地域によっては販売されない機種があります。  
ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。



# 目次

## はじめに

各部の名前と働き	3
本体	3
接続端子	4
リモコンと操作部	5

## 準備

接続のしかた	7
コンピューターとの接続	7
ビデオ機器との接続	8
外部機器との接続	9
電源を外部機器に供給する	10

## 映像の投写

映像を投写する	11
画面を調整する	13
電源を切る	17

## メニューで行う調整と設定

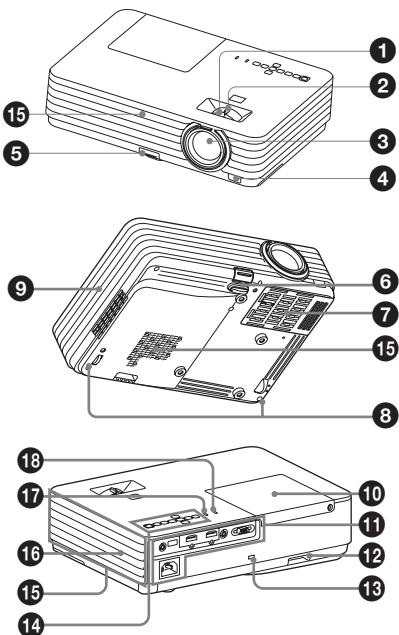
メニューの操作のしかた	19
画質設定	21
画面モード	23
機能設定	27
操作設定	28
接続／電源設定	30
設置設定	32
情報	33

## その他

インジケーターの見かた	34
メッセージ一覧	36
故障かな?と思ったら	37
ランプを交換する	40
エアーフィルターを掃除する	42
天吊り時の使いかた	43
レンズキャップをはずす	43
ダストカバーを取り付ける	43
エアーフィルター周辺の掃除のしかた	44
本機の持ち運びかた	44
仕様	45
投写距離	51
寸法図	56
保証書とアフターサービス	59
索引	60

# 各部の名前と働き

## 本体



- ① フォーカスリング (13 ページ)
- ② ズームリング (13 ページ)
- ③ レンズ
- ④ リモコン受光部
- ⑤ 脚調整ボタン (15 ページ)
- ⑥ 前脚部 (調整可) (15 ページ)
- ⑦ エアーフィルターカバー／吸気口 (42 ページ)
- ⑧ 後脚部 (15 ページ)

### ⑨ 排気口

#### ⚠️ 警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

### ⑩ ランプカバー (40 ページ)

### ⑪ 接続端子部 (4 ページ)

### ⑫ 盗難防止用バー

市販の盗難防止チェーン (ワイヤー)などを取り付けることができます。

### ⑬ 盗難防止ロック

Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

### ⑭ 操作部 (5 ページ)

### ⑮ 吸気口

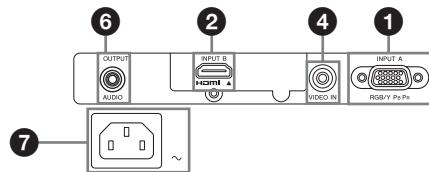
### ⑯ スピーカー

### ⑰ WARNING インジケーター (34 ページ)

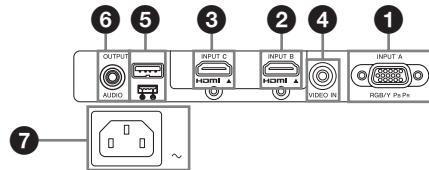
### ⑱ ON/STANDBY インジケーター (34 ページ)

## 接続端子

VPL-DX220



VPL-DX240/DX270/DW240



### 入力 (7、8 ページ)

#### ① 入力 A (INPUT A)

映像: RGB / Y Pb Pr 入力端子

#### ② 入力 B (INPUT B)

映像: HDMI 入力端子

音声: HDMI 入力端子

#### ③ 入力 C (INPUT C) \*

映像: HDMI 入力端子

音声: HDMI 入力端子

\* VPL-DX240/DX270/DW240 のみ

#### ④ ビデオ (VIDEO IN)

映像: ビデオ入力端子

### 出力

#### ⑤ 電源供給 \*

USB 端子 (タイプ A) (5V/2A)

\* VPL-DX240/DX270/DW240 のみ

#### ⑥ 音声出力 (AUDIO OUTPUT)

音声: 音声出力端子

#### ご注意

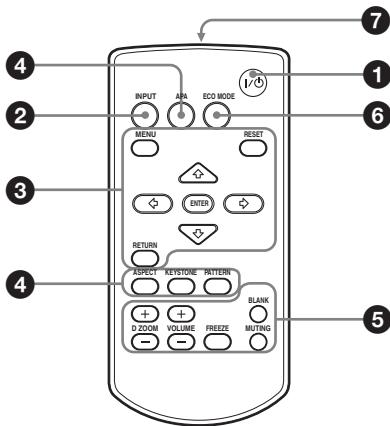
入力 B、入力 C を選択しているときのみ、音声が出力されます。

### その他

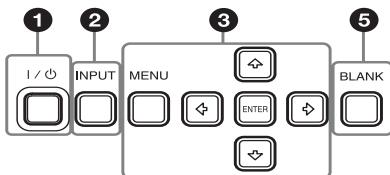
#### ⑦ 電源コンセント (~)

付属の電源コードを接続します。

## リモコン



## 操作部



- ① 電源を入れ／スタンバイする**  
I / O (オン／スタンバイ) ボタン
- ② 入力を切り換える (11 ページ)**  
INPUT (入力選択) ボタン
- ③ メニュー操作などを行う (19 ページ)**  
MENU (メニュー) ボタン  
RESET (リセット) ボタン  
ENTER (決定) / ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン  
RETURN (戻る) ボタン

## ④ 映像を調整する (13 ページ)

ASPECT (アスペクト) ボタン  
(23 ページ)

KEYSTONE (台形補正) ボタン  
(16 ページ)

PATTERN (パターン) ボタン  
(14 ページ)

APA (オートピクセルアライメント) ボタン\* (16 ページ)

## ご注意

\* RGB 入力端子 (入力 A) からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

## ⑤ 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM (デジタルズーム) +/- ボタン\*

投写中の映像の中央を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。

拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

BLANK (映像消去) ボタン  
一時的に投写中の映像を消します。  
もう一度押すと解除します。

消画中はランプ出力を低下させ、消費電力を抑えることができます。

## MUTING (消音) ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

## VOLUME (音量) +/- ボタン

音量を調整します。

## FREEZE (フリーズ) ボタン\*2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

### ご注意

\*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

\*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

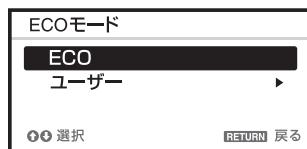
## ⑥ 簡単に省エネ設定をする

### ECO MODE (エコ モード) ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。

#### ECO モードメニュー



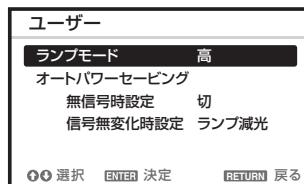
2 ↑/↓ ボタンまたは ECO MODE ボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

**ECO**：それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「低」／無信号時設定：「スタンバイ」／信号無変化時設定：「ランプ減光」）に設定します。

**ユーザー**：ECO 設定を手動で行えます。（手順 3 へ）

3 「ユーザー」を選び、→ ボタンを押す。

設定項目が表示されます。



4 ↑/↓ ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。

5 ↑/↓ ボタンで設定値を選ぶ。

6 ENTER ボタンを押す。

元の画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、接続／電源設定メニュー（30 ページ）の「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」をご覧ください。

## ⑦ リモコン発光部

### リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

# 接続のしかた

## ご注意

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

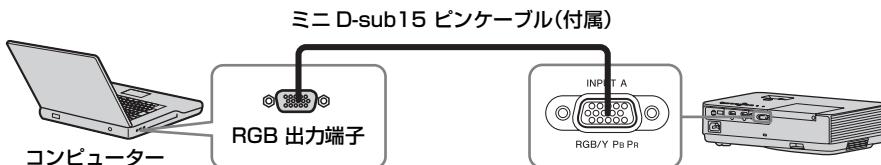


## コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

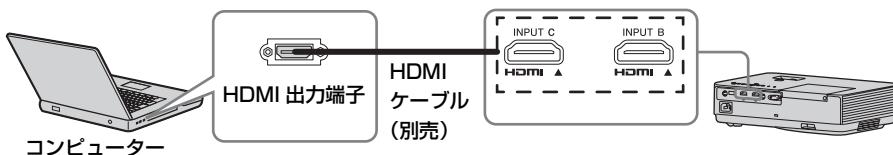
### 入力 A (INPUT A)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。



### 入力 B (INPUT B) / 入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。



## ご注意

- ・入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

- ・投写した映像の解像度は、入力端子により異なる場合があります。
- ・コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度をVPL-DX270/DX240/DX220は $1024 \times 768$ ピクセル、VPL-DW240は $1280 \times 800$ ピクセルに設定することをおすすめします。

## ビデオ機器との接続

DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

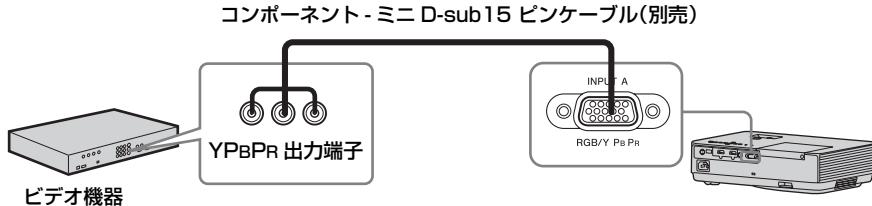
### ビデオ (VIDEO)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



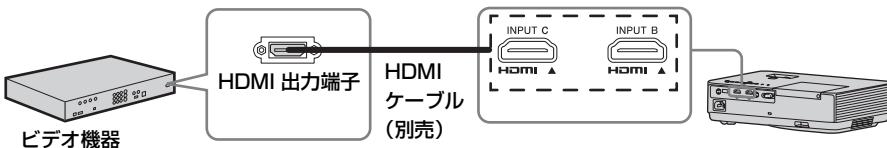
### 入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



## 入力 B (INPUT B) / 入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



### ご注意

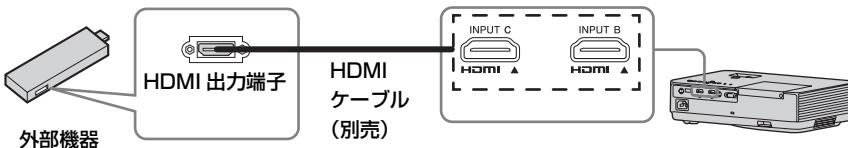
- ・入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください (ソニー製を推奨します)。
- ・入力 C (INPUT C) 端子の最高解像度は 720p に設定されています。

備考

## 外部機器との接続

### 入力 C (INPUT C)

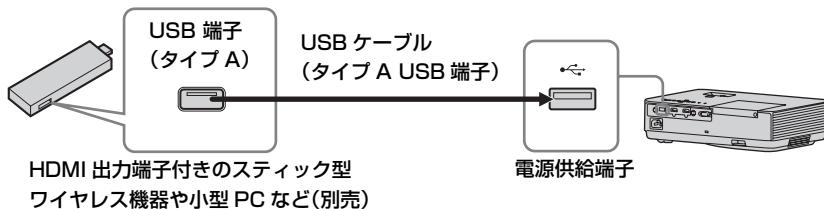
HDMI 出力端子付きの外部機器と接続します。外部機器は、入力 C (INPUT C) に接続してください。



## 電源を外部機器に供給する

USB ケーブルで本機から外部機器（スティック型の PC など）に電源を供給することができます。（最大 5 V/2 A）

### 1 USB ケーブル（タイプ A USB 端子）で外部機器を本機に接続する。



#### ご注意

- ・本機の使用に適した仕様の外部機器を使用してください。
- ・誤った方法で接続すると、外部機器が故障する恐れがあります。その場合、ソニーは一切責任を負いません。

### 2 接続／電源設定メニューの「電源供給」を「入」にする。(30 ページ)

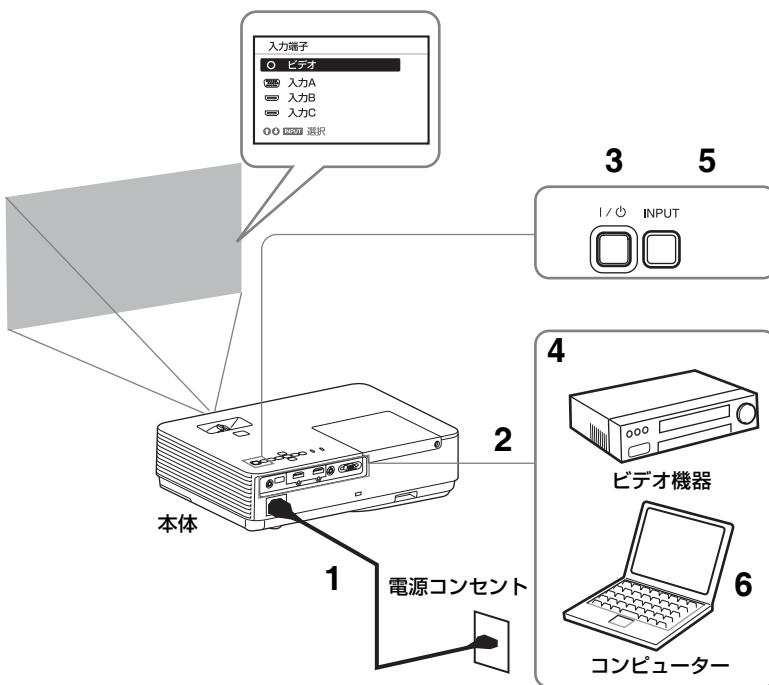
USB ケーブルを通じて本機から外部機器に電源が供給されます。

#### ご注意

- ・入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください（ソニー製を推奨します）。
- ・入力 C (INPUT C) 端子の最高解像度は 720p に設定されています。

# 映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」（51 ページ）をご覧ください。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 再生する機器と接続する（7 ページ）。
- 3 I/Off ボタンを押して、電源を入れる。
- 4 再生する機器の電源を入れる。

## 5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または  $\uparrow/\downarrow$  ボタンを押し、投写する映像を選びます。

**6 コンピューター側で画面の出力先  
を外部ディスプレイに変更する。**

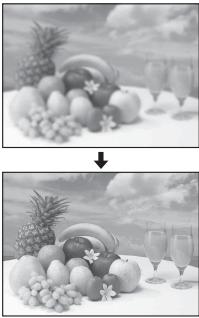
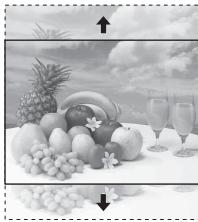
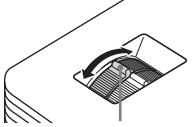
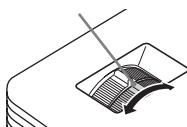
出力先の切り替えは、コンピュー  
ターによって異なります。

(例)

 + 

**7 画面のフォーカス、サイズ、位置  
を調整する (13 ページ)。**

## 画面を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)	画面の位置
		
 フォーカスリング	 ズームリング	 脚調整ボタン 前脚部（調整可） 後脚部

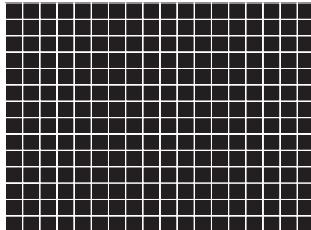
## テンプレート、調整用パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上にテンプレートや調整用パターンを表示することができます。テンプレートは 4 種類、調整用パターンは 1 種類です。PATTERN ボタンを押すたびに切り替わります。MENU ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

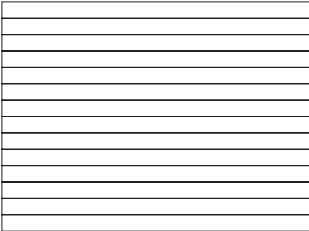
テンプレート 1



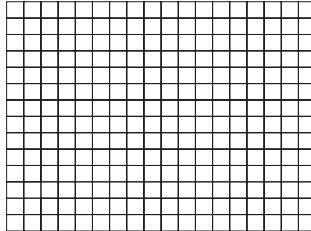
テンプレート 2



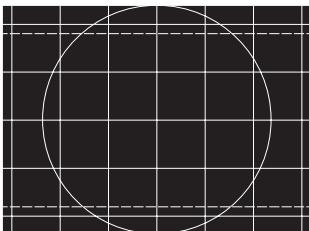
テンプレート 3



テンプレート 4



調整用パターン



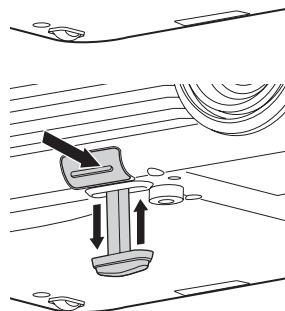
元の画面に戻る



## 脚調整ボタンによる微調整

脚調整ボタンを使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

- 1 脚調整ボタンを押しながらプロジェクターを持ち上げ、角度を調整します。



- 2 プロジェクターの角度を調整したら、脚調整ボタンを離し、前脚部（調整可）をロックします。

### ご注意

- ・前脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・前脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。

## 投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます（23 ページ、25 ページ）。

## 台形になった画面を補正する（キーストーン補正）<sup>\*1</sup>

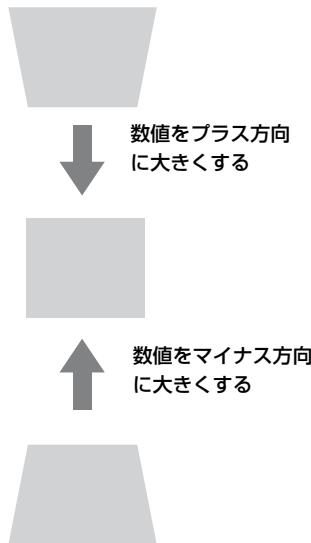
通常は、自動的にキーストーン補正機能<sup>\*2</sup>が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

### ご注意

\*1：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

\*2：VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。



## コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント (APA)）

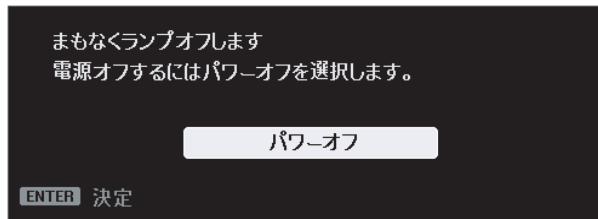
リモコンの APA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます（24 ページ）。機能設定のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します（27 ページ）。

## 電源を切る

### 1 本体またはリモコンの I/Off ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。メッセージ表示中の 10 秒以内に I/Off ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

「電源供給」が「入」になっているとき、電源ボタンを押すと、メッセージが表示されます。約 10 秒後にランプが消灯し、電源供給が継続します。電源供給を停止するときは、「電源オフするにはパワーオフを選択します。」を選択します。



ランプを再度点灯させる場合は、メッセージ表示中に電源ボタンを押してください。

#### ご注意

ランプ点灯後は、すぐに電源を切らないでください。ランプが点灯しないなど、故障の原因になる恐れがあります。

### 2 電源コードを抜く。

#### 確認メッセージを出さずに電源を切る

本体の I/Off ボタンを数秒間押し続けてください。(36 ページ)

#### ご注意

ランプ点灯直後に電源オフの操作をすると、確認メッセージが表示され、電源オフまでの時間が通常よりも長くなることがあります。

## ECO ゲージ

本機の ECO 機能が効果的に活用されたかを表す指標です。(ECO 機能については、「ECO モードボタン」(6 ページ)、「省エネ設定」(30 ページ)をご覧ください。) ECO 機能の設定により省電力が達成された度合いによって、シャットダウン時に葉マークの枚数で表示されます。



# メニューの操作のしかた

## ご注意

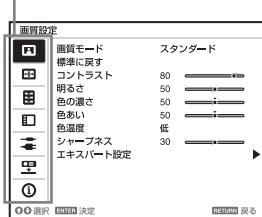
説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

### 1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

### 2 設定したい設定メニューを選ぶ。

▲/▼ボタンを押して設定メニューを選び、→ボタンまたはENTERボタンを押す。

#### 設定メニュー

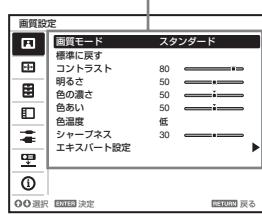


### 3 設定したい項目を選ぶ。

▲/▼ボタンを押して項目を選び、→ボタンまたはENTERボタンを押す。

←ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

#### 設定項目



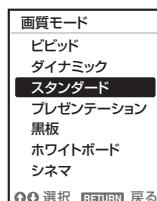
### 4 設定項目の設定や調整をする。

設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、3の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTERボタンを押して設定を確認してください。←ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中にRESETボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

#### ポップアップメニューの操作：

▲/▼/←/→ボタンで項目を選びます。項目を選ぶとすぐに設定が反映されます。

ただし、「表示言語」に限り、ENTERボタンを押すまで設定は反映されません。

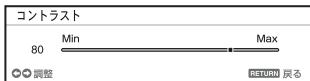


#### 設定メニューの操作：

▲/▼ボタンで項目を選びます。ENTERボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

### 調整メニューの操作：

数値を大きくするときは↑/➡ボタンを押し、数値を小さくするときは↓/⬅ボタンを押します。ENTERボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



### 5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

## ① 画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	<b>ビビッド</b> ：明るくメリハリのある色鮮やかな画質になります。 <b>ダイナミック</b> ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 <b>スタンダード</b> ：なめらかな階調の自然な画質になります。 <b>プレゼンテーション<sup>*1</sup></b> ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。 <b>黒板</b> ：黒板投写に適した画質になります。 <b>ホワイトボード</b> ：ホワイトボード投写に適した画質になります。 <b>シネマ</b> ：映画鑑賞に適した画質になります。
標準に戻す <sup>*2</sup>	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ <sup>*3*4</sup>	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい <sup>*3*4*5</sup>	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
色温度 <sup>*6</sup>	<b>高／中1／中2／低</b> ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
シャープネス	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	<b>ガンマモード</b> <b>グラフィックス1</b> ：中間調が明るために補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投写する場合に適しています。 <b>グラフィックス2</b> ：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な階調で再現します。 <b>グラフィックス3</b> ：明るい部分を強調するガンマ補正曲線を選びます。メリハリのある映像を映しだします。

### ご注意

- \*1：コンピューター信号入力時に選択できます。
- \*2：「画質モード」の値はお買い上げ時の設定に戻りません。
- \*3：ビデオ信号入力時に選択できます。
- \*4：カラーバースト信号を含まない信号が入力された場合には、選択できません。
- \*5：アナログTV信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- \*6：「画質モード」を「プレゼンテーション」または「黒板」以外に設定している場合に選択できます。
- \*7：「画質モード」を「黒板」に設定している場合は、選択できません。

## ■画面モード

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
アスペクト <sup>*1</sup>	投写している画面の縦横比が切り換わります。(25 ページ)
VPL-DX270/ DX240/DX220 : コンピューター信号 入力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル 1</b> : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 <b>ノーマル</b> : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-DX270/ DX240/DX220 : ビデオ信号入力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>ズーム</b> : 画像の中心部分を拡大して投写します。
VPL-DW240 : コ ンピューター信号入 力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル 1</b> : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル 2</b> : 画面いっぱいに投写します。 <b>フル 3</b> : 入力信号の縦横比を維持したまま、1280 × 720 ピクセルの範囲に縦または横いっぱいに投写します。 <b>ノーマル</b> : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-DW240 : ビ デオ信号入力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル</b> : 画面いっぱいに表示します。 <b>ズーム</b> : 画像の中心部分を拡大して投写します。

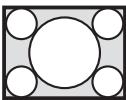
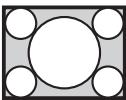
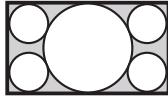
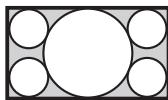
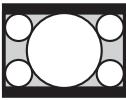
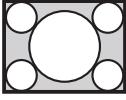
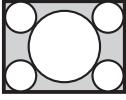
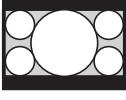
項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
APA <sup>*2</sup> <sup>3</sup>	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します（5 ページ）。
フェーズ <sup>*2</sup>	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
ピッチ <sup>*2</sup>	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト <sup>*2</sup>	<b>H（水平）</b> ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 <b>V（垂直）</b> ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

#### ご注意

- \*1：・ 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などをを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
  - ・ 入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
  - ・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- \*2 : RGB 入力端子（入力 A）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- \*3 : 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。

## アスペクトについて

### VPL-DX270/DX240/DX220

入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	4:3 
	フル1 <sup>1</sup> 
	16:9 
ビデオ信号	16:10 
	フル1 <sup>1</sup> <sup>2</sup> 
ビデオ信号	4:3 
	4:3 <sup>3</sup> 
ビデオ信号	16:9 
	16:9 <sup>4</sup> 

\*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2:「4:3」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

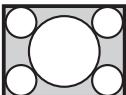
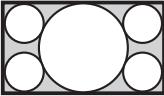
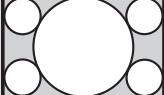
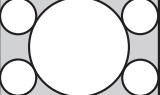
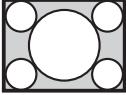
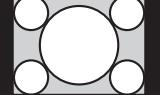


\*3:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



\*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

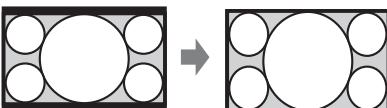


入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	4:3 
	フル1 <sup>*1 *2 *3</sup> 
	16:9 
ビデオ信号	16:10 
	フル1 <sup>*3</sup> 
	4:3 
ビデオ信号	4:3 <sup>*4 *5</sup> 
	16:9 
ビデオ信号	16:9 

\*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



\*3:16:9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4:3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出することがあります。そのような場合は、「フル3」を選択してください。



\*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



\*5:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



# ■機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明	
プレゼンテーションタイマー	時間設定／スタート：投写時間をタイマーで設定します。	
サイズ	ENTER ボタンを押すと、カウントを開始します。	
位置	小／大／オート：タイマーの文字サイズを選択します。「オート」を選択すると、約1分ごとにタイマーの文字サイズが3秒間大きく表示されます。発表者に時間の経過をお知らせします。	
カウントアップ／ダウン	右下／左下／右上：タイマーの表示位置を選択します。	
音量	アップ／ダウン：設定した時間に対し、カウントアップをするか、カウントダウンをするかを選択します。	
スマート APA	音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。
CC ディスプレイ	入／切：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 <sup>*1</sup>	
ランプタイマー初期化	切：CC を表示しません。	
スタートアップイメージ	CC1/CC2/CC3/CC4/Text1/Text2/Text3/Text4：表示する CC (クローズドキャプション) のサービス (字幕または文字情報) を選択します。	
スタートアップイメージ	入／切：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。	

## ご注意

\*1：RGB 入力端子（入力 A）からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

# □ 操作設定

メニューやりモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
表示言語	メニューなどに使用する言語を設定します。
画面表示	<b>入</b> ：すべての画面表示が有効になります。 <b>切</b> ：メニューの表示、警告メッセージ、お知らせなど以外の画面表示が出なくなります。
パスワード設定	<b>1</b> MENU、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。) <b>2</b> MENU、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 <b>3</b> 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。
セキュリティロック <sup>1</sup>	<b>入/切</b> ：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 <b>1</b> 「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 <b>2</b> 設定されているパスワードを入力する。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、 $\text{I}/\text{O}$ ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
メニュー設定ロック <sup>2</sup>	<b>フル</b> ：すべてのメニュー設定をロックします。 <b>起動時</b> ：この設定を選択すると、本機の電源を入れたときの設定がロックされます。使用中、設定は変更できますが、電源を切ると、最初にロックされた設定に戻ります。 <b>更新</b> ：「起動時」を選択中、「更新」を選択すると、変更された設定が保存され、ロックされます。
操作キーロック	<b>入/切</b> ：「入」を選ぶと、操作部での操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・スタンバイ状態で、<math>\text{I}/\text{O}</math> ボタンを約 10 秒押す。 →電源が入ります。</li><li>・電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 →操作キーロックが「切」になり、操作部の操作が可能になります。</li></ul>

## ご注意

- \*1: パスワードが分からなくなつた場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国／地域によって異なります。)
- \*2: のメニューを操作するときは、パスワードの入力が必要です。パスワードの入力は、操作設定メニューの「パスワード設定」(28 ページ) で設定してください。

# 接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

項目	項目説明
ECO	
ランプモード	<b>高／標準／低／オート</b> <sup>*5</sup> ：「高」を選ぶと、映像は明るくなり、消費電力が高くなります。「低」を選ぶと、消費電力が最も少なくなりますが、映像は暗くなります。「オート」を選んだ場合は、入力された映像により輝度が自動調整されます。暗い映像は、輝度を調整して投写することで、省電力につながります。一方、明るい映像は、輝度を調整せず明るく投写します。
電源供給	<b>切／入</b> ：「入」にすると、USB ケーブルを通じて、本機からステイック型 PC などの外部機器に電源を供給します。電源供給のしかたについては、「電源を外部機器に供給する」(10 ページ) をご覧ください。 <sup>*6</sup>
オートパワーセービング	
無信号時設定	<b>オート</b> ：本体に信号が入力されない状態が約 10 分続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプが消えると、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します(34 ページ)。 <b>スタンバイ</b> <sup>*2</sup> ：本体に信号が入力されない状態が約 10 分続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 <b>切</b> ：無信号時設定機能を無効にします。
信号無変化時設定	<b>ランプ減光</b> <sup>*4 *5</sup> ：本体に入力されている映像に変化がない状態が続いた場合(約 10 秒)に、ランプモードの設定からランプ出力の低減(約 10%～15% <sup>*3</sup> )を徐々に行います。また、任意の設定時間(5 分／10 分／15 分／20 分／デモ)の入力信号無変化検出により、自動的に約 30% のランプ出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ランプ減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 40 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作(リモコン／操作部)を検出すると、元の明るさに戻ります。 <b>切</b> ：信号無変化時設定機能を無効にします。
入力 A 信号種別 <sup>*1</sup>	<b>オート／コンピューター／コンポーネント／ビデオ GBR</b> ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。

項目	項目説明
ダイレクトパワー オン	<b>入／切</b> ：「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が「入」になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。
冷却時間	<b>標準／クイック</b> ：ランプ消灯後の冷却時間を設定します。「標準」を選ぶと、本機の温度を充分に下げてから持ち運ぶことができます。

### ご注意

- \*1：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- \*2：無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。
- \*3：ランプモードの設定により異なります。
- \*4：ランプ減光は、時間をかけて徐々に行われる所以、減光されていることに気づかない場合があります。そのため、入力信号が変化して元の明るさに戻ったときに、減光されていたことに気づく場合があります。
- \*5：ランプ点灯後、約3分間はこのモードは機能しません。また、入力されている映像により信号変化／無変化を検出できない場合があります。減光した状態で使用を続けた場合、一定時間毎に明るくなる場合がありますが故障ではありません。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。
- \*6：「入」に設定した場合、「オートパワーセービング」、「無信号時設定」の「オート」を選択することはできません。

# ■ 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
画像反転	<b>上下左右／左右／上下／切</b> ：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	<b>画像反転連動／床置き／天井つり</b> ：設置角度に応じて冷却設定を変更します。「画像反転連動」を選ぶと、「画像反転」の設定に基づいて冷却設定を変更します。誤った設定のままで使用すると部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
高地モード <sup>*1</sup>	<b>入／切</b> ：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
V キーストーン <sup>*2</sup>	<b>オート<sup>*3</sup>／手動<sup>*2</sup></b> ：数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

## ご注意

\*1：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。

\*2：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

\*3：VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。

## ① 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

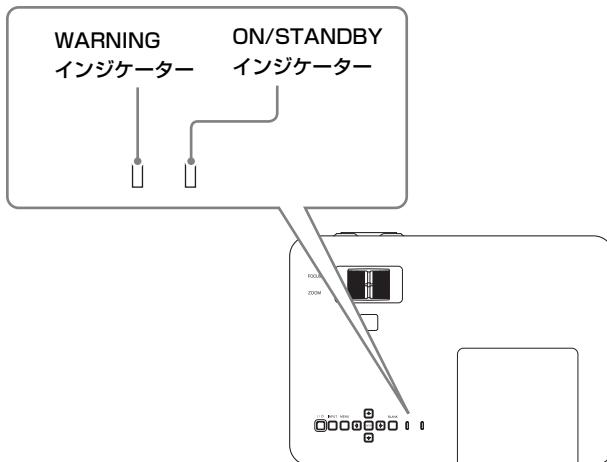
項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH (水平周波数) / fV (垂直周波数) <sup>*1</sup>	現在入力されている信号の水平周波数／垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

### ご注意

\*1：入力信号によって表示されない場合があります。

## インジケーターの見かた

本機では、ON/STANDBY インジケーターと WARNING インジケーターの点灯・点滅により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。インジケーターが赤色に点滅している場合には、「警告表示と対処方法」(35 ページ) に従って対処してください。



### 動作状態の表示

インジケーターの状態	動作状態	意味
	スタンバイ	本機の電源が入っており、待機状態です。
	起動準備中	本機に電源が入り、操作可能になるまでの間の時間です。
	電源オン	映像が投写できる状態です。
	冷却中	電源を切った後、本機を冷却している状態です。
	待機	ランプが消灯している状態です。

## 警告表示と対処方法

インジケーターの状態	点滅回数	意味	対処方法
 (赤点滅) (赤点灯)	2回	ランプカバーが確実に取り付けられていません。	ランプカバーの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。
	3回	ランプが正常に点灯しません。	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、再度電源を切り、ランプを取り出して（40ページ）、ランプが割れていないか確認してください。 割れていないときはランプを再度取り付けて、もう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合はランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（40ページ）。 割れているときはご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
 (赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅	2回	本機内部の温度が異常です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアーフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。（40ページ）</li> <li>排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、充分な間隔を確保してください。</li> <li>本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。</li> </ul>

上記以外のインジケーター点滅時には電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください。

# メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表にしたがい対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
フィルターを掃除してください	エアーフィルターを掃除してください。	42
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを掃除してください。メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	40, 42
セット内部温度が高いです。 1分後にランプオフします。	本機内部の温度上昇を検知しました。以下の対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>エアーフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。</li><li>排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていなか確認し、十分な間隔を確保してください。</li><li>本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。</li></ul>	3, 3, 32, 42
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	49
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオートまたは入力されている信号に合わせて設定してください。	30
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	—
操作キーロック中です！	操作キーロックが設定されています。	28
まもなく電源オフします I/Off キーで復帰できます	電源オフボタンが押され、まもなくシャットダウンされます。 I/Off ボタンをもう一度押すと、シャットダウンが取り消され、電源オン状態に戻ります。 すぐに電源オフにしたい場合は、I/Off ボタンを数秒間長押ししてください。	17
ランプ減光中	信号無変化時設定により、ランプ出力を低減させている時に表示されます。信号変化や操作（リモコンまたは操作部）を検出すると復帰します。	30

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの修理窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
	「操作キーロック」が「入」になっていると、本体の <b>1/0</b> ボタンで電源を入れることができません。	28
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	40
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	7
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。	12
	ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	11
	映像消去されていないことを確認してください。	5
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	28
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	5、23、25

症状	対処のしかた	ページ
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利 用して補正することができます。	5、16、32
	「V キーストーン」が「手動」になっていると自動的にキーストーン補正がされません。「V キーストーン」を「オート」 <sup>*1</sup> に設定するか、手動で調整してください。	5、16、32
	スクリーンが傾いている場合、オート V キーストーン補正 <sup>*1</sup> が正しく機能しない場合があります。「V キーストーン」を手動で調整してください。	5、16、32
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	21、30
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプ使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	33、40
	「信号無変化時設定」が設定されている。	30
	消画中は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	30
	映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	—
画面が明るくなったり暗くなったりする	ランプ輝度を低減させている時間が長く続くと、一時的にランプ出力が上昇することがあります。故障ではありません。	—
	「ランプモード」の設定が「オート」の場合、映像によりランプの輝度が変動します。	30
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	13
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。	—
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	7

症状	対処のしかた	ページ
音声が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	7
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	—
	消音されていると音声が出ません。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、27
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	—
	電池が消耗していないことを確認してください。	—
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	30、32
	吸気口、排気口がふさがれないと内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。 ・エアーフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていかないか確認し、十分な間隔を確保してください。	3、3

## ご注意

\*1: VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。

# ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合は、新しいランプに交換してください。

(36 ページ)

ランプは、プロジェクターランプ LMP-D214（別売）をお使いください。

## △警告

- 電源を切った直後はランプが高温になっているため、触るとやけどの原因となります。ランプを充分に冷やすため、本機の電源を切ったあと

1 時間以上たってからランプを交換してください。

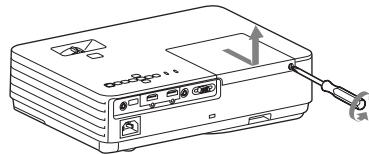
- ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

## △注意

- ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾げずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるこれがやけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

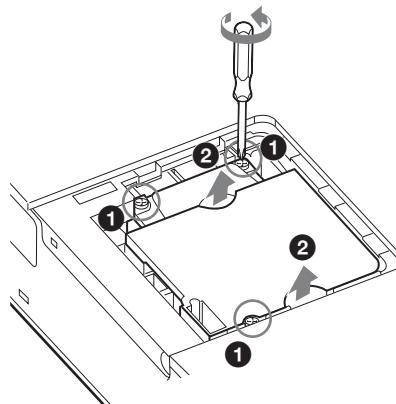
2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1本）をゆるめ、ランプカバーを開く。



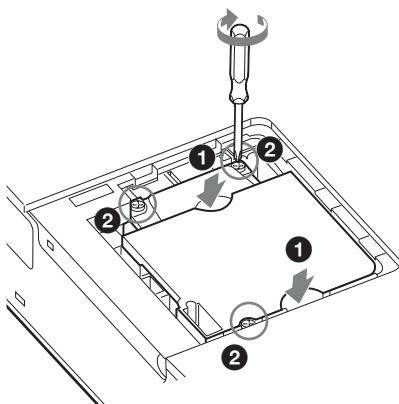
## ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはささないでください。

3 ランプのネジ（3本）をゆるめ、指かけのくぼみを掴んでランプを取り出す。



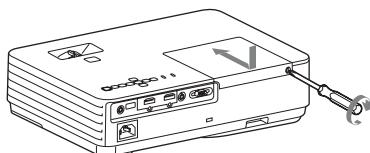
**4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（3 本）を締める。**



**ご注意**

- ・ランプのガラス面および導線部には触れないようご注意ください。
- ・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

**5 ランプカバーを閉じ、ネジ（1 本）を締める。**



**6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。**

**7 ランプタイマーの初期化を行う。**

次回の交換時期をお知らせするため、ランプタイマーを初期化します。機能設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTERボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。（27 ページ）

# エアーフィルターを掃除する

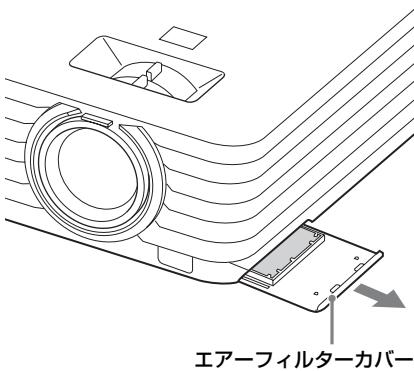
投写画面に表示されるメッセージにエアーフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアーフィルターを掃除してください（36 ページ）

エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

## ⚠ 注意

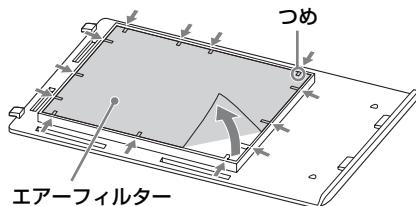
メッセージが表示された後に、そのまま使用し続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 エアーフィルターカバーを引き出して取り出す。



- 3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

エアーフィルターを引き出して取り外し、掃除機で掃除してください。



- 4 エアーフィルターカバーを元に戻す。

## ご注意

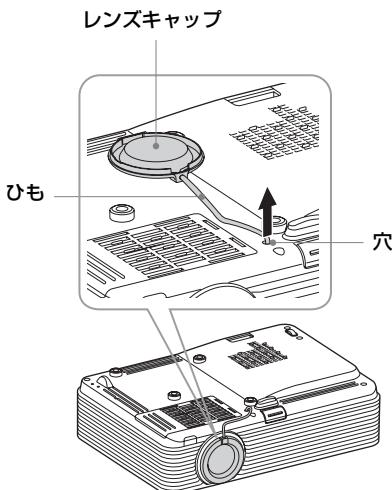
目の粗い面が本機底面に向くようにエアーフィルターを戻し、エアーフィルターカバーを元の位置に差し込んでください。

# 天吊り時の使いかた

## レンズキャップをはずす

天吊りで使用するときにレンズキャップが必要ない場合は、取りはずしてください。

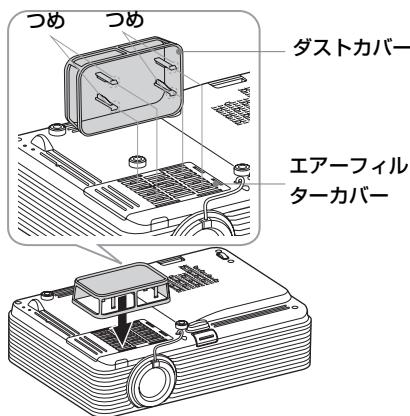
レンズキャップのひもを少し強く引くと、取りはずすことができます。レンズキャップが必要になったときは、ひもの先端を穴に差し込んでください。



## ダストカバーを取り付ける

天吊りで使用するとき、埃がエアーフィルターに溜まるのを防ぐためにダストカバーを取り付けることができます。

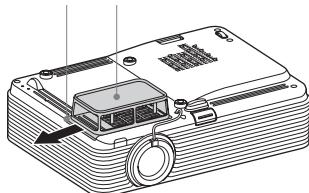
エアーフィルターカバーを覆うようにダストカバーを置き、ダストカバーの内側にあるつめ（4つ）をエアーフィルターカバーの穴に差し込んでください。



## エアーフィルター周辺の掃除のしかた

- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 きれいな布でダストカバーの汚れを拭き取る。
- 3 ダストカバーを装着したままエアーフィルターカバーを引き出す。

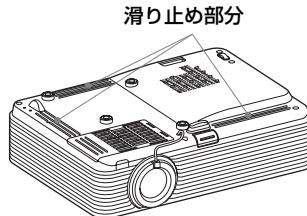
エアーフィルターカバー ダストカバー



- 4 ダストカバーとエアーフィルターカバーを掃除機で掃除する。
- 5 エアーフィルターを取りはずし、掃除機でエアーフィルターを掃除する。  
詳しくは、「エアーフィルターを掃除する」の手順3(42ページ)をご覧ください。
- 6 エアーフィルター、エアーフィルターカバー(およびダストカバー)を元の位置に戻す。

## 本機の持ち運びかた

本機を持ち運ぶ場合は、落下防止のために滑り止め部分をしっかりとつかんでください。



# 仕様

項目	項目説明
投写方式	3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ VPL-DX270/DX240/DX220 : 0.63 型 (16.0 mm)、 3 枚、アスペクト比 4 : 3 VPL-DW240 : 0.59 型 (15.0 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10
	有効画素数 VPL-DX270/DX240/DX220 : 2,359,296 画素 (1024 × 768 ピクセル、3 枚) VPL-DW240 : 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	ズーム 手動ズーム： VPL-DX270/DX240/DW240 : 約 1.3 倍 VPL-DX220 : 約 1.2 倍
	フォーカス調整 手動
光源	高圧水銀ランプ 215 W 型
画面サイズ	30 ~ 300 型 (0.76 m ~ 7.62 m)
有効光束 (明るさ) <sup>1</sup>	VPL-DX270 : 3500lm VPL-DX240 : 3200lm VPL-DW240 : 3000lm VPL-DX220 : 2700lm (ランプモード : 高)
スピーカー	1 W × 1 (モノラル)
対応走査周波数 <sup>2</sup>	水平 : 15 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz
表示可能解像度 <sup>2</sup>	コンピューター 最大入力解像度 : 1600 × 1200 ピクセル (リサイクル) 信号入力時 ジング表示 パネル表示解像度： VPL-DX270/DX240/DX220 : 1024 × 768 ピクセル VPL-DW240 : 1280 × 800 ピクセル
ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p
カラー方式	NTSC <sub>3.58</sub> 、PAL、SECAM、NTSC <sub>4.43</sub> 、PAL-M、PAL-N

その他

項目	項目説明
コンピューター／入力 A ビデオ入力	<b>RGB/Y Pb Pr 入力端子</b> ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性
入力 B	<b>HDMI 入力端子</b> ：HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
入力 C <sup>3</sup>	<b>HDMI 入力端子</b> ：HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
ビデオ入力	<b>ビデオ入力端子</b> ：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端
音声出力	<b>音声出力端子</b> ：ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms (ボリューム最大)、出力インピーダンス 5 kΩ HDMI 入力時のみ対応
使用温度 (使用湿度)	0 ~ 35 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 10 ~ +60 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
電源	VPL-DX220 : AC100V、2.9A、50/60Hz VPL-DX240/DX270/DW240 : AC100V、3.0A、50/60Hz
消費電力	VPL-DX220 : 293W VPL-DX240 : 284W VPL-DX270 : 304W VPL-DW240 : 304W
待機電力 (スタンバイモード)	0.5W
発熱量	VPL-DX220 : 999BTU/h VPL-DX240 : 968BTU/h VPL-DX270 : 1037BTU/h VPL-DW240 : 1037BTU/h
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	VPL-DX270/DX240/DW240 : 約 325.1 × 90 × 232.2 (mm) 約 325.1 × 79.8 × 230.5 (mm) (突起部含まず) VPL-DX220 : 約 325.1 × 90 × 233.2 (mm) 約 325.1 × 79.8 × 230.5 (mm) (突起部含まず)

項目	項目説明
質量	約 2.7 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売アクセサリー <sup>*4*5</sup>	プロジェクターランプ LMP-D214 (交換用)

### ご注意

\*1出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

\*2 詳細は、対応信号表をご覧ください (49 ページ)。

\*3 VPL-DX240/DX270/DW240 のみ

\*4 別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

\*5 ここに記載されている別売りアクセサリーは、2016 年 5 月現在のものです。

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

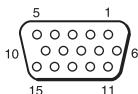
## ピン配列

### HDMI 端子 (HDMI、凹)



1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	N.C.
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

### RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、 凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

### 電源供給端子 (USB タイプ A、凹)



1	V <sub>BUS</sub> (4.4 - 5.25 V)
2	
3	
4	Ground

対応信号一覧<sup>\*1</sup>

## コンピュータ信号

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YP <sub>B</sub> P <sub>R</sub>	HDMI
640 × 350	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 400	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	
	37.9/73	●	
	37.5/75	●	
	43.3/85	●	
800 × 600	35.2/56	●	
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	
	46.9/75	●	
	53.7/85	●	
832 × 624	49.7/75	●	
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	
	60.0/75	●	
	68.7/85	●	
1152 × 864	64.0/70	●	
	67.5/75	●	
	77.5/85	●	
1152 × 900	61.8/66	●	
1280 × 960	60.0/60	●	●
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	
	91.1/85	●	
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1600 × 1200	75.0/60	●	●
1280 × 768	47.8/60		●
1280 × 720	45.0/60	●	● <sup>*2</sup>
1920 × 1080	67.5/60		● <sup>*3</sup>

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YP <sub>B</sub> P <sub>R</sub>	HDMI
1366 × 768	47.7/60	●	●
1440 × 900	55.9/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●

デジタル TV 信号<sup>\*4</sup>

信号名	fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YP <sub>B</sub> P <sub>R</sub>	HDMI
480i	60	●	●
576i	50	●	●
480p	60	●	●
576p	50	●	●
1080i	60	●	● <sup>*5</sup>
1080i	50	●	● <sup>*5</sup>
720p	60	●	●
720p	50	●	●
1080p	60		● <sup>*5</sup>
1080p	50		● <sup>*5</sup>

## アナログ TV 信号

信号名	fV[Hz]	入力端子	
		Video	
NTSC	60	●	
PAL/ SECAM	50	●	

## ご注意

- \*1: 表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- \*2: パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度では表示されず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。
- \*3: 67.5/60Hzの入力信号では、表示されない場合があります。
- \*4: 本機では、HDMI端子を用いて、デジタル信号を入力する場合、映像が正しく表示されないことがあります。
- \*5: 本機では、50Hzの映像を表示する場合、映像が正しく表示されないことがあります。

\*2：720/60p の動画配信信号として識別されれます。

\*3：1080/60p の動画配信信号として識別されれます。

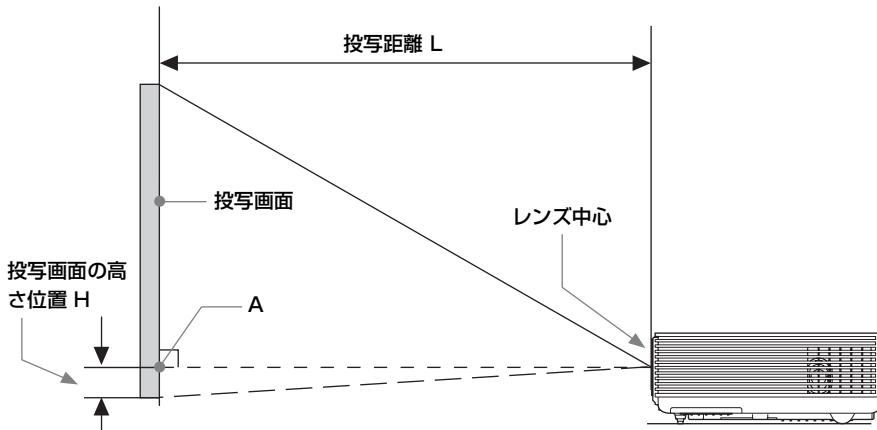
\*4：同期付 G/Y 信号のみ対応。

\*5：入力 B (INPUT B) のみ対応。

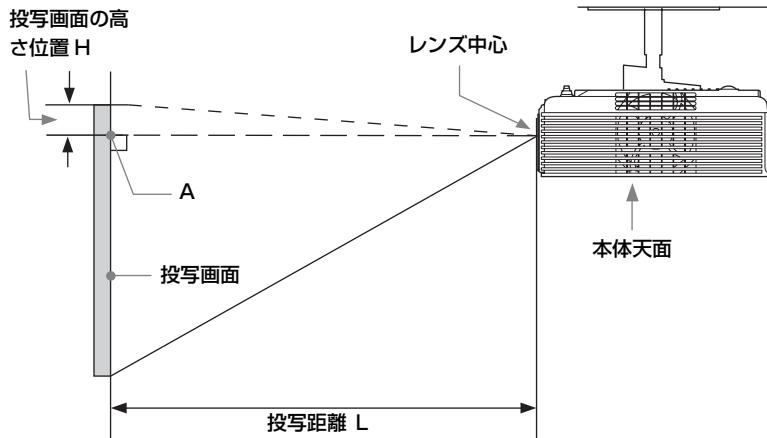
# 投写距離

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。

## 床置き設置時



## 天井設置時



$L$  : 投写距離

$H$  : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

## 投写距離表 (VPL-DX270/DX240)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.25-2.92	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	2.81-3.66	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.44 × 1.83	3.38-4.40	-0.30	-0.30
150 型 (3.81m)	3.05 × 2.29	4.23-5.51	-0.38	-0.38
200 型 (5.08m)	4.06 × 3.05	5.65-7.36	-0.51	-0.51

## 投写距離計算式 (VPL-DX270/DX240)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L = 0.028366 \times D - 0.0290$	$L = 0.036956 \times D - 0.0283$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H = -0.00254 \times D + 0.00000$	$H = -0.00254 \times D + 0.00000$

## 投写距離表 (VPL-DX220)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.42-2.88	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	3.02-3.60	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.44 × 1.83	3.63-4.33	-0.30	-0.30
150 型 (3.81m)	3.05 × 2.29	4.55-5.42	-0.38	-0.38
200 型 (5.08m)	4.06 × 3.05	6.07-7.23	-0.51	-0.51

## 投写距離計算式 (VPL-DX220)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.030427 \times D-0.0234$	$L=0.036301 \times D-0.0236$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H=-0.00254 \times D+0.00000$	$H=-0.00254 \times D+0.00000$

## 投写距離表 (VPL-DW240)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	2.36-3.05	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	2.95-3.82	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.58 × 1.62	3.55-4.59	-0.29	-0.29
150 型 (3.81m)	3.23 × 2.02	4.44-5.75	-0.37	-0.37
200 型 (5.08m)	4.31 × 2.69	5.93-7.67	-0.49	-0.49

## 投写距離計算式 (VPL-DW240)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.029757 \times D-0.0291$	$L=0.038536 \times D-0.0282$

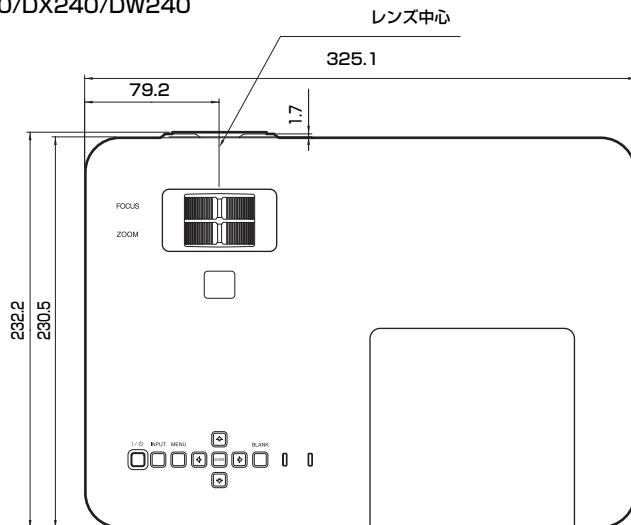
計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H=-0.00246 \times D+0.00000$	$H=-0.00246 \times D+0.00000$

# 寸法図

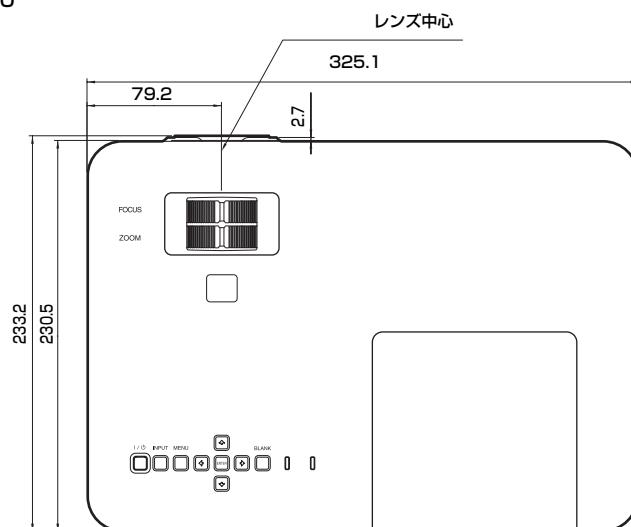
本体上面

VPL-DX270/DX240/DW240



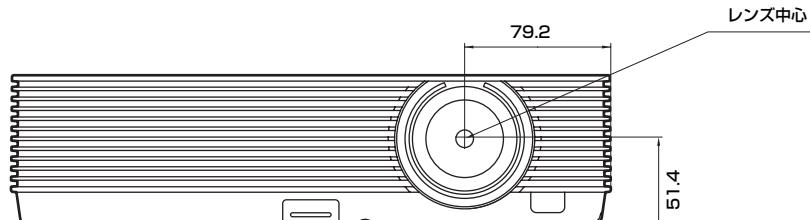
単位: mm

VPL-DX220



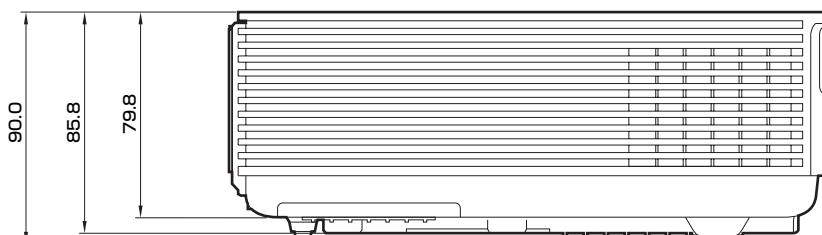
単位: mm

本体前面



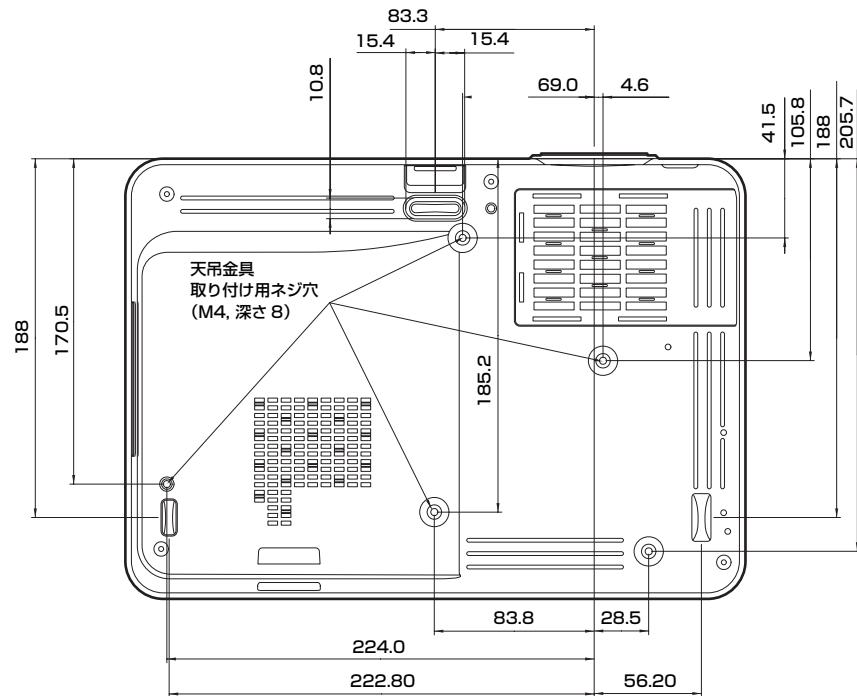
単位: mm

本体側面



単位: mm

本体底面



単位 : mm

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを →**  
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。**

**保証期間中の修理は →** 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は →** 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

# 索引

## あ

明るさ	21
脚調整ボタン	3, 15
アスペクト	5, 23, 25
色あい	21
色温度	21
色の濃さ	21
エアーフィルターカバー／吸気口	3
エアーフィルターを掃除する	42
映像消去	5
映像を投写する	11
エコ モード	6
音量	6

## か

各部の名前と働き	3
画質設定	21
画質モード	21
画像反転	32
画像反転連動	32
画面表示	28
画面モード	23
ガンマモード	21
機能設定	27
吸気口	3
後脚部（調整可）	3, 15
高地モード	32
故障かな？と思ったら	37
コントラスト	21
コンピューターとの接続	7

## さ

シャープネス	21
仕様	45
消音	6
情報	33
シリアル No.	33
信号の種類	33
信号無変化時設定	30
垂直周波数	33
水平周波数	33
ズーム	13

スタートアップイメージ	27
スマート APA	27
セキュリティロック	28
接続端子	4
接続端子部	3
接続／電源設定	30
設置設定	32
前脚部（調整可）	3, 15
操作キーロック	28
操作設定	28
操作部	5

## た

対応信号一覧	49
台形補正	5, 16
ダストカバー	43
デジタルズーム	5
電源供給	30
電源コンセント	4
電源を入れる	5, 11
電源を切る	5, 10, 17
投写距離	51
盗難防止用バー	3
盗難防止ロック	3

## な

入力	4
入力信号調整	24
入力を切り換える	5

## は

排気口	3
ビデオ機器との接続	8
表示言語	28
ピン配列	48
フェーズ、ピッチ、シフト	24
フォーカス	13
フォーカスリング	3
フリーズ	6
別売りアクセサリー	47
保証書とアフターサービス	59
本体	3

## ま

無信号時設定	30
--------	----

メッセージ一覧	36
メニューの操作のしかた	19
モデル名	33

**5**

ランプカバー	3
ランプ使用時間	33
ランプタイマー初期化	27
ランプを交換する	40
リモコン	5
リモコン受光部	3
レンズキャップ	43

**A**

APA	5
-----	---

**C**

CC ディスプレイ	27
-----------	----

**H**

H (水平)	24
--------	----

**K**

Keystone	5
----------	---

**L**

LAMP/COVER インジケーター	3
--------------------	---

**O**

ON/STANDBY インジケーター	34
--------------------	----

**V**

V キーストーン	5, 16, 32
----------	-----------

**W**

WARNING インジケーター	34
-----------------	----

**商標について**

- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記していません。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.jp/professional/support/>